



9月8日深夜から9日未明にかけて、当地区は台風15号の暴風雨に見舞われました。翌日、雨が小やみになった段階で雨戸を開けると、外の状況がはっきりしました。瓦が飛び、カーポート屋根の亚克力板が飛んでいました。そのほか、いろいろなものが飛ばされ、暴風のすごさに改めて驚きました。風速49メートルの暴風を記録したということでしたが、これほどまでの風速は、過去に記録されていないそうです。9日から12日まで停電が続きました。保育園では、空調、冷蔵、冷凍庫、炊飯器が使えず、それでも給食は提供しました。出席児童数も日常の30%程度でした。いろいろと不便なことはありましたが、その中でも電話が使えないために外部との連絡が取れなかったことです。その後、園外活動のための保育園スマホの番号を保護者の皆様にお知らせし、出欠席連絡等に使用いただきました。今後は、停電時の緊急連絡先として事前に保護者の皆さんにお知らせします。また、延長保育の時間帯では、東日本大震災の際の計画停電に備え、購入した電池式のランタンが役に立ちました。また、早めのお迎えのご協力、ありがとうございました。

保護者の皆様には、水分補給に飲料水や麦茶等、ご配慮いただきました。皆さんの厚意は私たちを勇気づけ、元気をいただくことができました。こうした状況であっても、保育園を開け、本来の役割を果たすことができたことを誇りに思います。停電初日、2日目と30度を超える猛暑日でした。空調を使えないために屋外活動を控え、窓を開け外の風を入れ、うちわ等を使い、熱中症対策としました。しかし、空調にかなうはずもなく、子どもたちには厳しい2日間でありました。

10月5日(土)は、子どもたちの楽しみにしている運動会です。今年は、運動会に向けての活動が普段の年より1週間ほど短くなってしまいました。年長児は竹馬、パラバルーンの練習を始めるのが遅くなりました。子どもたち自身が楽しめる運動会、そして成長した姿が見られる運動会にしたいと思います。幼児棟改築工事のために園庭で行う運動会は、令和3年度までお休みになります。また、昭和45年4月以来、たくさんの子ども(累計1984名)が生活してきた園舎も運動会后、仮設園舎完成とともに取り壊されます。壁面の子どもたちが楽しそうに遊ぶタイル画は、岩根保育園のシンボルでした。改築の際に保存することができず、とても寂しい気持ちです。保護者の皆さんの中には、岩根保育園を卒業された方もいらっしゃいます。今年の運動会のテーマは、「50年間 ありがとう! 幼児棟」にしました。あちこち傷んで、今の生活様式にも合わなくなってしまった園舎です。それでも50年間、私たちを見守り続けてくれました。感謝の気持ちを忘れず、子どもたちには運動会を楽しんでほしいと思っています。

園長 平野弘和

岩根保育園卒園児(昭和21年～平成30年度) 3,614名

幼児棟園舎卒園児(昭和45年～平成30年度) 1,984名